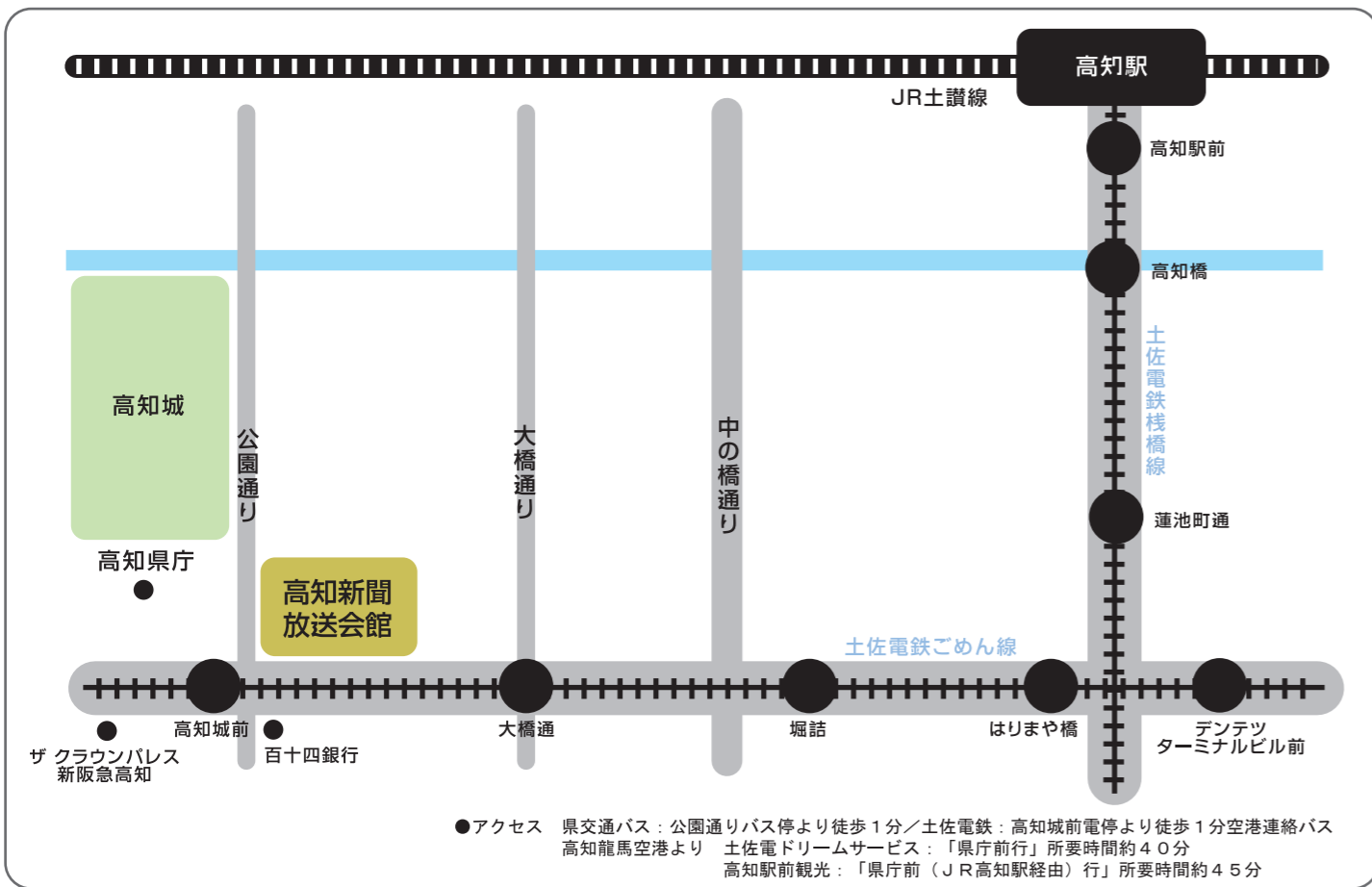


## 会場案内



- 開催日 2013年2月16日(土)12:50~17:30-17日(日) 9:00~12:40
- 会場 高知新聞放送会館 高新RKCホール (〒780-8666 高知市本町三丁目2-15)
- 定員 400人(先着順)
- 参加費 1,000円(資料代として)
- 主催 高知県・日本福祉大学
- 共催 全国コミュニティライフサポートセンター・高知県社会福祉協議会

### お申込の手順

- 参加ご希望の方は、下記参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
- 事務局より参加票をお送りいたします。当日は参加票をご持参ください。
- 資料代(1,000円)は当日受付にてお支払いください。

### お申し込み・お問い合わせ

高知県地域福祉政策課  
〒780-8570 高知市丸ノ内一丁目2-20  
TEL: 088-823-9090 E-mail: 060101@ken.pref.kochi.lg.jp

参加者の登録管理および参加票の発送は、業務受託をいたしております。全国コミュニティライフサポートセンター(TEL:022-727-8730)が行います。あらかじめご了承ください。

※FAX番号の間違いにご注意ください  
**FAX 088-823-9207**

## これからの集落福祉を考えよう! 参加申込書

申込者	団体名		
所在地	〒 (自宅・職場)		TEL
			FAX
お名前		役職	お名前
①			③
②			④

# これからの集落福祉を考えよう

「あったかふれあいセンター」を高知から全国へ

日時 **2013年2月16日(土)~17日(日)**

会場 **高知新聞放送会館 高新RKCホール**

高知県では、全国に比べて人口減少が15年、高齢化が10年先行しており、これまで地域が担ってきた支え合いの力が弱まってきています。そのため、「日本一の健康長寿県構想」を策定し、新たな福祉のカたち【高知型福祉】の実現を目指した取組を進めています。

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らしていける地域づくりを進めていくためには、行政と住民が「連携」と「協働」により取組んでいくことが重要であり、地域では人と人が助け合い、支え合う関係づくりが大切です。

高知県では、子どもから高齢者まで、年齢や障害の有無にかかわらず、小規模でありながらも必要なサービスが提供できる「あったかふれあいセンター」の取組を平成21年度から行っています。

「あったかふれあいセンター」や、各地域で展開されている「支え支えられる地域づくり」のあり方など、これからの「集落福祉」について徹底討論することで、今後の展開や支援のあり方をともに考え合うことを目的に開催します。

主催: 高知県・日本福祉大学  
共催: 全国コミュニティライフサポートセンター・高知県社会福祉協議会

# これからの集落福祉を考えよう! 「あったかふれあいセンター」を高知から全国へ

1日目  
2月16日(土)

2日目  
2月17日(日)

12:50

## 開会

13:00~14:00

## 鼎談 中山間地集落における共生型社会の実現に向けて

内閣府	政策統括官(共生社会政策担当)	山崎 史郎
国際医療福祉大学大学院	教授	大熊 由紀子
高知県	知事	尾崎 正直

休憩(10分)

14:10~15:40

## 支え支えられる地域づくり~福祉の視点から~

<b>パネラー</b>	高島市社会福祉協議会地域支援課(滋賀県)	課長	井岡 仁志
	にしはらたんぼぼハウス(熊本県)	施設長	上村 加代子
	土佐町(高知県)	町長	西村 卓士
<b>サポーター</b>	内閣府	政策統括官(共生社会政策担当)	山崎 史郎
<b>コーディネーター</b>	神戸学院大学総合リハビリテーション学部	教授	藤井 博志

休憩(20分)

16:00~17:30

## 支え支えられる地域づくり~地域振興の視点から~

<b>パネラー</b>	口羽をてごおする会(島根県邑南町)	事務局長	小田 博之
	川根振興協議会(広島県安芸高田市)	会長	辻 駒健二
	「森の巣箱」運営委員会(高知県津野町)	運営委員長	大崎 登
	高知県中山間地域対策課	課長	前田 和彦
<b>サポーター</b>	全国コミュニティライフサポートセンター	理事長	池田 昌弘
<b>コーディネーター</b>	日本福祉大学アジア福祉社会開発研究センター	センター長	穂坂 光彦

9:00~10:30

## 高知県を掘り下げる あったかの効果・課題

(社会福祉推進事業報告)

<b>パネラー</b>	津野町あったかふれあいセンター(高知県)	主任	明神 利恵
	黒潮町健康福祉課(高知県)	課長	宮川 茂俊
	地域生活支援ネットワークサロン(北海道釧路市)		日置 真世
	高知県地域福祉部地域福祉政策課	課長	山地 和
<b>サポーター</b>	厚生労働省社会・援護局地域福祉課	専門官	中島 修
<b>コーディネーター</b>	日本福祉大学社会福祉学部	教授	平野 隆之

休憩(10分)

10:40~11:30

## 基調講演 地域福祉の推進について(仮)

厚生労働省社会・援護局 局長 村木 厚子

休憩(10分)

11:40~12:30

## これからの「集落福祉」のあり方とは

<b>パネラー</b>	日本福祉大学社会福祉学部	教授	平野 隆之
	厚生労働省社会・援護局	局長	村木 厚子
	高知県地域福祉部	部長	小田切 泰禎
<b>コーディネーター</b>	国際医療福祉大学大学院	教授	大熊 由紀子

12:40

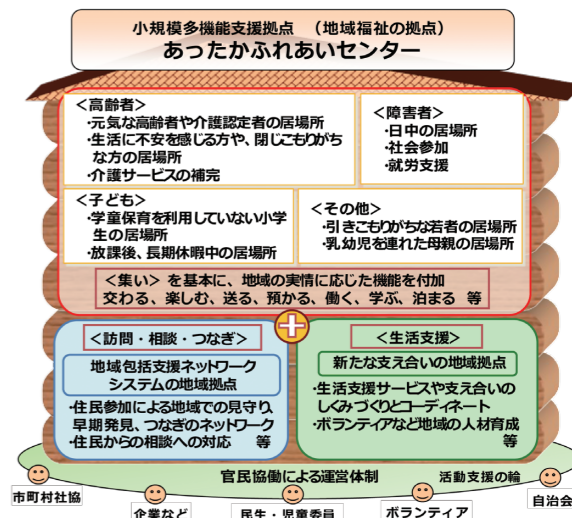
## 閉会



## あったかふれあいセンターの紹介

高知県の「あったかふれあいセンター」は、制度サービスの隙間を埋め、子どもから高齢者まで年齢や障害の有無にかかわらず、小規模でありながらも1ヵ所で必要なサービスを受けられる地域福祉の拠点です。

平成21年度から事業を開始し、現在、県内34市町村中27市町村35ヵ所で実施しています。



## 事例紹介

**土佐町あったかふれあいセンター**  
(土佐町社会福祉協議会)

旧小学校区単位を基本としたコミュニティ再生を目指した取組の1つとして、現在サテライトを含め、町内10ヵ所で実施。既存の制度で担いきれないサービスの提供や、住民のニーズに応じた地域のつながりの維持・再生及び支え合いの活動を推進していくための地域拠点として機能の充実を図っている。住民アンケートの結果を基に、地域の再生や活性化に向けて住民と一緒に話し合う取組を進めようとしている他、集落活動センター※など地域振興や中山間地域対策の取組とも連携した活動を展開。

**津野町あったかふれあいセンター**  
(津野町社会福祉協議会)

廃校になった校舎を利用するなどして、地域福祉の拠点を整備。住民とともに地域の課題や思いを共有し、支え合いや助け合いで解決できるしくみづくりを進めている。町内5ヵ所で実施。拠点ごとに様々な住民が集うだけでなく、住民がサポーターとして積極的に運営に参加。地域単位で住民を交えた話し合いの場ができたことで、運動会の復活や畑作りなど、地域住民のエンパワメントにつながる住民主体の活動も生まれている。今後はあったかを核とした小地域ケア会議の展開を目指している。

**黒潮町あったかふれあいセンター**  
(黒潮町社会福祉協議会)

「日常的に機能(サービス)を提供しながら、地域づくり(地域の活性化)に貢献する施設」として位置づけ、現在2ヵ所で実施。地域福祉計画策定により抽出された地域課題を解消するために「おらんく」のあったかふれあいセンターを目指し、地元住民によるスタッフを中心に地域の実情に応じた取組を展開している。「北郷」の拠点では、廃校舎を利用し、集落活動センター※と併設することで、相互に機能を活かしながら、集落支援に取組む。今後は地域資源などを活かしながら、町内数ヵ所に設置予定。

※「集落活動センター」とは・・・集落の維持・再生を目的として、市町村、地域団体、住民が丸となり、それぞれの地域が抱える課題の解決を図る新たな仕組みをつくる高知県の施策。